

春動風光

題字 光風動春 揮毫 八幡浜教育会OB 岩井 源一 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 遊子川小学校
 - (3) ふるさとに生きる
 - (4) (5) 特集「私の好きな言葉」
 - (6) (7) 「省察力」を磨く
 - (8) ふるさとスケッチ
- ローカルトピックス

子育ての輪

『おおきくなあれ』



元 愛媛県教育研究協議会副会長
長野 シゲミ

地域社会に主体的に関わって暮らしたいと思ひ、自分のしたいこと、できそうなことを考えていたとき、子育て支援の立ち上げと見守りに関わることができた。

『おおきくなあれ』は、乳幼児、保護者、高齢者の三世代が交流するつどいの広場で、市の委託を受けたシルバー人材センターが運営している。呼び名は、乳幼児が健やかに大きく成長し、子育てに関わるみんなも一緒に成長して、その輪がだんだん大きくなっていくことを願ひ、子育て支援事業のみんなで命名した。

どういう形の子育て支援事業にするか、委員会を組織して検討した結果、子育て世代の要望を生かし、高齢者に気楽に相談に乗ってもらったり親子で交流して友達になったりできる事業になった。シルバー会員が利用者から元気をもらえる事業でもあった。

運営はみんなで話し合い、計画・実践・見直しをしながら自主的に進めている。交流、相談、援助、遊びの紹介、読み聞かせ、子育て情報の発信、季節を身近に感じる楽しいイベントなど、創意工夫が溢れている。また、食育や育児ストレスなしのハッピー子

育てなど、育児に関する講習会も定期的に開いている。利用者は、「知り合いもなくて不安だったが親子に友達がいっぱいできた。」「実家が遠いので今治のお母さんになってもらっている。」「おばあちゃんの家に遊びに行きたいな。」など、家族のように感じている。

一昨年、子育てを助け合う環境をつくろうと、県が創設した「愛顔(えがお)の子育て顕彰」で奨励賞を受けるなど、地域社会の担い手として高い評価を受けており、ますます子育て支援の輪が広がってきている。

住民が経験や特技を生かして地域社会に主体的に関わることが、生きがいとなって住民自身の豊かな人生に繋がります。住民同士が互いに支え合って共に生活することが、地域力を高めて豊かな社会に繋がる。

一略 歴一

(ながの・しげみ)

昭和39年 愛媛大学教育学部卒業

小学校教諭・教頭・校長

平成14年 退職

社会福祉学科卒業、社会福祉士

今治市男女共同参画審議会会長

次世代育成支援対策協議会委員長

シルバー人材センター理事・部長

現 学校評議員、行政相談委員

響 び

五月一日は学校基本調査の基準日。児童生徒一人の増減で一喜一憂した学校もあるだろう。そんな中、県内では昨年度

末に六小中学校が統合し、休校していた二小中学校が廃校になっている▼平成五年度には五五二校あった小中学校が、平成一五年度には五二〇校、今年度は四五〇校(一分校を含む)と、二〇年間で一〇二校が姿を消してしまった。また、児童生徒は、この間に約六万人減少し、約十万九千人となっている▼近年の少子高齢化の進展の上に財政難、校舎の耐震化などの影響で学校の統廃合が急激に進み、地域から学校がどんどんなくなっている。地域住民の学校に対する愛着は非常に強く、学校がなくなることは非常にさみしいものである▼学校は教育の場としてだけでなく、地域のコミュニティや防災、町づくりなど様々な役割を担っており、地域に密着した活力ある学校が求められる。将来を担う子どもたちの望ましい教育環境を整え、「生きる力」をはぐくむとともに、地域の一員としての自覚を養い、住民から愛される魅力ある学校づくりに励んでほしいと願う。

ひとこと

自然に親しむ



愛媛県教育会
監事
梅本マサ子

私が自然に興味・関心を持ったのは、小学五年の時「松山自然科学教室」の会員になった頃からだと思う。

中学三年までは会員として、次には会員の保護者として活動を続けた。その後、自然を観察する楽しみを子どもたちに伝えたいと思い、自然観察指導員の資格を取得した。

活動が続ける中で、次第に環境について考えるようになった頃、いつどこで聞いたのか定かではないが、「青い地球は誰のもの」という歌詞を思い出した。私たちが受け継いだ地球を汚さず、負の遺産を残さず、子どもたちに引き継ぐためにはどうすればよいのだろうか？

エコ・環境保護・地球温暖

化防止・環境ESDを考えながら、愛媛県・松山市・諸団体等が主催する各種の活動に参加・参画し、子どもたちや保護者のみなさんに自然に親しむ楽しみや環境を大切にすることの必要性を伝えていくと、私自身は環境保護活動の在り方についていろいろ考えるようになった。

今後は「私たちは環境との関係性の中で生きていく。世界の人々や将来の世代と関連している。」ということを考え、持続可能な社会の実現を目指すという環境ESDの目標を達成するために活動したいと思っている。

ここ数年欠席ばかりしていた観察会にも極力出向き、参加した人が自然にもっと親しみ、自然から環境へそして世界へ目を向けてもらえる方法を探していきたい。

子どもたちには「神秘さや不思議さに目を見はる感性」を一生持ち続けてほしいと願っている。自然は五感で感じるものだから……。

学校紹介

No.139

西予市立遊子川小学校

オリンピックと俳句キッズ

「力を結集、遊子川分会！総合優勝 第四十六回城川オリンピック」

これは、十月の遊子川公民館報に載せられた、誇らしげな見出しです。

西予市城川町は、旧城川町の四つの地域、【魚成・土居・高川・遊子川】に分かれ、それぞれに小学校があります。

この城川町で、昭和四十三年から続いているのが城川オリンピックです。このオリンピックは、四年に一回ではなく毎年あります。役場から会場まで聖火ランナーが走り、立派な聖火台に点火されたら、各競技が終わるごとに表彰式が行われたり、できるだけ本物のオリンピックにこだわった本格派なのです。そして、各地域の名誉をかけた一大イベントなのです。

本校のある遊子川地域は、四地域の中でも極端に人口の少ない地域です。その一番人口の少ない遊子川地域が優勝する理由は、どの地域にも負けない団結力（まとまり）の強さにあります。夜の練習にも、選手は毎回ほとんど参加

します。もちろん、本校の児童十一名も、教職員も参加しています。また、限界集落に瀕している地域を何とかしようと「遊子川もりあげ隊」が組織され、さまざまな地域活性化の事業も展開されています。学校に対しても、「子どもは地域の宝」として、惜しめない支援を賜ります。年二回の奉仕作業、地区合同運動会、遊子川小祭りなど、保護者だけでなく地域の色々な団体が参加、協力していただきます。まさに、地域に支えられ、地域と共に歩む学校なのです。



本校のもう一つの特色に、伝統の俳句教室があります。地域の先輩である松浦満男先生を講師に、学期に二、三回開き、すでに百十五回を数えています。これは、子どもの感性と表現力を豊かにしようかと、歴代の教職員が

営々と継続してきたものです。この積み重ねのおかげで、遊子川の子どもの感性や表現力には、キラリと光るものがあると自負しています。まさに、全校児童が俳句キッズです。愛媛新聞にもよく掲載されます。最後に、花まる俳句「四年生の作」を一句紹介します。

バツ追い
クウのスビード
風になる
(校長 山内 郁夫)

教職員共済生協の 総合共済 月掛金 900円

- 2種類の賠償責任補償がついているから日常生活も業務でも安心。
- 1 教育現場で働くすべての職員の方を対象とした賠償責任補償をセット。
- 2 教職員個人が負担せざるを得ない場合の訴訟費用や損害賠償請求費用を補償。
- 3 個人賠償の補償対象は配偶者や生計を共にする同居親族も含みます。

*昨年度の「賠償請求・訴訟事例」「支払い事例」の資料も準備しております。

愛媛県事業所は、(財)愛媛県教育会と提携して県下の教職員並びに退職教職員の皆様に生命共済や損害共済を提供しております。

<資料請求>は電話またはインターネットにて、お気軽にご連絡ください。

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所

〒790-8545 松山市祝町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館 3F
TEL 089-998-2141 http://www.kyousyokuin.or.jp/

題字に寄せて

こうふうはるをうごかす
光風動春



八幡浜教育会 OB
岩井 源一

数年前「光風動春」と書かれた年賀状が届いた。温日升という人の書いた詩の一節だと聞いている。「明るく輝く光と心地よい風が、春を引き入れてくれる」が転じて「高明寛大な心が、やがて幸福や幸運、善き物を運んでくれる」という意があるそうだ。三月十一日。東日本大震災二年の特番がテレビから流れていた。被災地の現況と共に依然厳しい生活状況の中、ひたむきに、前向きに懸命に生きていく人々の姿が映し出された。こういう人々にこそ、最優先に、希望の光が注がれ、幸福の風が運ばれてほしいと願う。と同時に、一日でも早い心の春の到来を祈っている。

ふるさとに生きる

No.71

伊達博物館経営



宇和島教育会

本田 耕一

(宇和島市広小路)

「伊達博物館館長を嘱託する」の辞令を教育長さんより頂いたのが、平成十八年十月一日、あつという間の六年六か月だった。この年は、一市三町が合併した記念すべき年。館員は私を含めて七名、何も分からず彼らの指導を受けながらの毎日だった。伊達博物館は他の館と大きく違う点がある。展示物のほとんどが公益財団法人宇和島伊達文化保存会のもので、宇和島市が無償でお借りし、展示を行っている、全国でも珍しい館である。当時、財団の理事長は伊達宗禮様、ご自宅は東京なので、この博物館運営に関わっていた方は、伊達事務所長さんだった。ご挨拶に伺ったとき、言われた言葉

が印象的だった。「館長職は名誉職と思っているかもしれないが、決してそうではない。何事にも館員の先頭で動け。」とのこと。今でも肝に銘じ、このことは忘れない。お客さんは勿論のこと、博物館には多くの方が出入りされる。この地域を中心にした人的ネットワークがあつてこそ博物館経営ができたと思う。海に関係している方の知恵をお借りし、宇和島藩が幕末に町人嘉蔵に作らせた「伊達の黒船」を友人の大村氏に依頼して想像復元し、小学生を招き、天赦園の池で走らせましたこと。また、今では定着している秋の特別展の企画、立案に関しては、茶人の木村宗慎先生に公私にわたりご指導



を頂いた。教育に携わっていたとき、「地域に根ざした教育」とよく言われた。宇和島は伊達十萬石の町、博物館でその歴史を教えずして経営はできない。宇和島歴史文化研究会の方から助言、援助していただき、小中学校で出迎え授業を行った。本物を見せることと、授業を行うことで興味関心呼び起こした。延べ二千人を超える児童生徒が参加した。博物館勤務では、いろいろな立場の方々と協力しながら充実した毎日を送ることができた。特に、現公益財団法人理事長伊達宗信様には絶大

学校生協

自動車保険大口団体割引のおすすめ

組合員は現在ご加入の自動車保険無事故割引額より、さらに10%割引になります。
OBの方も継続してご加入できます。
毎月のお支払いは給与天引きになります。

提携保険会社	東京海上日動火災保険会社 三井住友海上火災保険会社 株式会社損保ジャパン
--------	--

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089-925-0555)
または 郡市学校生活協同組合

なるご理解とご支援を頂いた。この場をお借りし、感謝したい。

特別展の記録

平成十八年 和のたしなみ、数寄の風雅

平成十九年 京の雅、伊達の華

平成二十年 絵図が語るもの

平成二十一年 戦国武将伝

平成二十二年 戦国浪漫

平成二十三年 縁(えにし)

平成二十四年春期 政宗と秀宗―序章―

平成二十四年秋期 政宗見参!

集 特 私の好きな言葉

よい加減



小岩市立山松
教諭 中川 恵

「あの人の仕事はいい加減だ」というと、手を抜き、怠慢である様子が想像されま

す。要領が悪く、面倒くさがりの私は、ともすると、この「いい加減」になりがちです。

しかし、あるとき、「よい加減」という言葉に出会いました。ちょうどよくなるように加減する、といった意味合いです。「あの人の仕事はよい加減だ」というと、いつの間にかほめ言葉になっているのです。「いい加減」ではなく、「よい加減」を目指し、日々奮闘しています。

学校で「よい加減」に子どもや保護者と関わるには、信頼関係が必要です。例えば、問題行動を起こした子どもに話を聞く際、こちらの思い込みで「いい加減」に聞くと、子どもは心を閉ざし、今後本音を語らなくなります。子ども

もの心に寄り添って「よい加減」に聞き、「よい加減」に保護者と関わると、問題行動が減ってくるように思いますが。毎回同じ加減が効果的とは限りませんが、相手の立場になって誠実な対応かを振り返るようにしています。

今年の目標は、「よい加減」に教材研究をすることです。

昨年度初めて複式学級を担任し、授業のめあてを明確にし、効果的な学習展開を考えることの大切さを痛感しました。教師の重要任務である「楽しく分かる授業」を目指したいと思えます。そして、三月に「また担任をしてほしい」と思われる教師を目指したいです。

出会いに感謝して



小分市上中央国
校長 原田 尋

大好きな梅の花がほころび始めた頃、一人の教え子が私を訪ねてきてくれた。兄と二人、県外の高校で自炊をしな

から野球を続け、卒業式を終えて帰省したのだという。真つ先に、先生に会って知らせたかったのだと彼は笑った。

六年生の頃の彼は、複雑な家庭環境もあってか、物事を斜めに構えて見たり、言葉で人を傷つけたりするところがあつた。けれども本当は寂しがりで、心に痛みを抱えている友達には優しくあつた。

高校の野球部の監督はとも離れてがんばっていたが、親元を離れていづも支えてくださったので、いつも支えてくださった自分があるのだと素直に語る彼は、本当に礼儀正しく、穏やかな空気をまとった好青年になつていった。

彼を担当したとき、私は教室の後ろに折原みとさんの「不思議」という詩を掲示していた。いくつもの不思議が重なって一年を共にする仲間に出会えたのだと伝えたかったからだ。そして卒業式の日にも、何十億分の一の確率で出会っていつしよに過ごさせて幸せだったと締めくくった。

あれから六年、彼はいい出会いをして、すてきな人に成長していた。その出会いを引き寄せるような生き方をして

未知を拓く



会教育穴浮上
OB 長谷 美保

きたのだと思う。そして、これからも自分の足でしっかりと歩み続けていくだろう。その後ろ姿と凛と咲く梅一輪が重なって見えた。旅立ちの春、私もまた、出会いに感謝して生きていきたいと思う。

今までたくさん素敵な言葉に出会ってきた。特に現役時代、心が弱っていたり悩んでいたたりしたとき、ぴたっとそのときの私の心に入り込んでくる言葉で自分を鼓舞してきたように思う。

そんなたくさんさんの言葉の中で私の大好きな言葉が「未知を拓く」である。

未知…まだ知らないこと
拓く…石を手でたたき割るように開くこと
ひろい取ること

ある研究会で、廊下に掲示されていたのを見、「いい言葉だな」と思った。すると翌年の四月、その学校へ赴任。この言葉との再びの出会いがあった。何だかその言葉に導

かれた感じがした。ことあるごとに私自身を励まし奮い立たせてくれたこの言葉。わずかに五文字であるが、この言葉を校訓とされた地域の先達たちの進取の精神、チャレンジ精神に学んでいきたいと思つた。

初めての地で、未知のことばかり。わくわく、ドキドキ、はらはらの毎日。「知る」楽しさ、「調べる」おもしろさ、「チャレンジする」おもしろさを再確認した。また、ちょうど閉校という一つの歴史の終わり、統合という新しい歴史の始まりに立ち合うという、まさに「未知を拓く」貴重な体験の日々でもあつた。

子どもたちに、「未知の世界」へチャレンジすることのすばらしさを伝えたいと歩んできたが、退職した今、自身、「未知を拓く」の心を忘れずに過ごしていきたいと思う。

しんどい時ほど 笑顔でいよう



中見市治近
教諭 野間 祥子

この言葉は、初任者として

勤めた学校の校長先生が大好きな言葉です。しんどい時にしんどい顔を見ると、伝染してまわりの人もしんどくなり、それがまた自分に返り、自分もさらにしんどくなりま。だから、しんどい時ほど笑顔を作り、まわりの人と一緒に困難を乗り越えていこうという意味です。私は、この言葉を心に留めて教師として歩んでいたつもりでした。

今年、初めて学級担任となりました。入学間もない一年生はかわいく、毎日笑顔が絶えません。慣れない生活に、何もかも教えていく毎日は、

とても大変ですが、周りの先生方に教えていただきながら、笑顔で過ごしていました。しかし、連休明けには学校生活に慣れ、気が緩み、生徒間のもめごとが増えました。同時に、研究授業の準備で夜遅い日が続き、心に余裕がなくなっていました。

そんなある日、K君が、「先生、最近笑ってないよ。先生は、笑顔がええのに！」とつぶやきました。私は、鏡で自分の顔を見ました。そこには、四月とは違った自分がありました。私は笑顔になると、えくぼが印象的と言わ

祝 文章・受賞おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- 村上 末張様 88歳 元松山市立石井東小学校校長 松山市
- 亀井 馨充様 88歳 元伊方町立二見小学校校長 伊方町
- 濱崎 勉様 88歳 元吉田町立喜佐方小学校校長 宇和島市
- 森藤 義博様 88歳 元三間町立三間中学校校長 宇和島市
- 宇都宮哲男様 88歳 元三瓶町立三瓶中学校校長 西予市

◇平成二十四年度 愛媛県教職員選賞（職名等は受賞時のもの）

- 井上 浩二様 60歳 松山市立勝山中学校校長 松山市
- 土居 和博様 60歳 伊予市立港南中学校校長 砥部町
- 畑中 靖祥様 60歳 伊予市立双海中学校校長 松山市
- 本馬 毅様 60歳 松前町立松前中学校校長 松前町
- 土居 俊彦様 60歳 伊予市立城川中学校校長 西予市
- 清水 慶子様 60歳 松山市立番町小学校校長 松山市
- 松坂 純子様 60歳 松山市立清水小学校校長 松山市
- 清家 実様 60歳 宇和島市立天神小学校校長 宇和島市

れていたのですが…。校長先生の言葉の意味が本当に理解できた瞬間でした。

その日から、また「しんどい時ほど笑顔でいよう」を強く意識するようになりました。今では、担任の役割にも少し慣れ、私の顔には、えくぼが戻りました。これからは、この言葉と笑顔を大切にしていきたいと思えます。

わたしと

あなたの距離



川中 典子
大洲市立 校長
校 亀田

「あなたとわたしの距離は、わたしとあなたの距離です。」

三十代初め、雑誌の中で見つけた言葉だと思うのですが、何という雑誌だったのか、誰の言葉だったのか、今は覚えていません。妙に心に残り、この言葉を心に唱え、自分のとるべき言動を決めたことが教員生活の中で、何度もあったように思います。

自分の言葉が生徒の心の中を素通りしているようで虚しさを感じるとき、口にこそ出さないけれど明らかな不満を

瞳に宿らせている生徒に対して、感覚（価値観）の違いに相手を拒否してしまいうな自分に気づくとき……。そんなとき、私はいつも、この言葉をつぶやきました。

私が感じるこのもどかしさは、きっと相手も感じている。この距離を作っているのは、相手だけではない。むしろ、自分にその原因があるのかもしれない。この距離を縮めるために、私にできることは何だろうか……。そう考えてやってきました。空回りに終わることもありましたが、多くは、やがて心が通い合う喜びに変えることができました。また、「距離」を意識する中で、近ければよいというのではなく、立場や周りとの関係によって、相手と自分のほどよい距離をとることが大切だということも学びました。生徒指導に限らず、保護者や同僚、いろいろな出会いのたびに、この言葉は力を発揮してくれました。

教師の仕事は、人間関係が全てだと実感しています。これから、まず自分から心を開いて、相手に向き合い、素敵な関係を築いていきたいなと思っています。

学校生協

眼鏡市場提携のご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会は眼鏡市場と提携店契約を結んでいます。

組合員の皆様は学校生協のクーポンチラシを店頭にご持参頂きますと、現金もしくはクレジットカードでお買上げの際に5%割引が適応されます。

（補聴器は5%割引の対象から外れます。）



お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089-925-0555)
または郡市学校生活協同組合

学校生協

畳替え・ふすまの張り替えなどのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会は、(有)ライフネット新居浜（県下4店舗）と提携店契約を結んでいます。

面倒な畳替え・ふすまの張り替えなどのご用命は、お気軽に学校生協までご相談ください。

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089-925-0555)
または郡市学校生活協同組合

「省察力」を磨く
 ↳「愛媛県学力向上五か年計画」に基づく実践に向けて

愛媛県教育委員会
 義務教育課

「愛媛県学力向上五か年計画」は、平成二四年度、学力向上戦略会議の答申を受けて、県教育委員会が決定しました。本計画は、中学校学習指導要領が全面实施となる平成二四年度から平成二八年度までの五か年における、本県の学力向上に向けた取組の指針となるものです。

学力向上計画の目標として、「学校教育の質の保証・向上」を掲げるとともに、学力を単なる知識の理解といった狭い領域で捉えるのではなく、「基礎的・基本的な知識や技能の習得」に加え、「思考力・判断力・表現力等の育成」や「学ぶ意欲」を含んだ幅広い学力としています。

を実現するためには、教育委員会及び学校が効果的なPDCAサイクルを構築する必要があります。

現在、学力向上に向けた動きが全国的に活発化しています。そのきっかけは、平成一九年度に全国的な学力調査が復活したことにあると見られがちですが、実は、今回の全国調査が始まる五年ほど前から、多くの都道府県で、独自の学力調査の継続実施が始まっています。本県では、昨年度、県独自の学力調査の継続実施をスタートさせました。これを契機として、学力向上に向けた取組の成果や、授業のねらいの定着度を客観的に見取る力を向上させていく必要があると考えます。

そこで、目標達成のための三つの力の一つに「省察力」を掲げました。

「授業力」を関連付け、三つの力を相互に高めながら、県全体の取組を充実させることとしています。

2 「省察力」向上の視点

三つの力の一つ、「省察力」を取り上げ、その向上を図るための視点を示します。

児童生徒の学習状況を確実に見取り、次の指導に生かすためには、「目標・指導・評価の一体化」が欠かせません。ところが、授業のねらいを重点化して、そのねらいに沿って指導し、ねらいの達成状況を見取り、見取ったこと

を次の授業に反映する一連の行為は、言うは易く行いは難しいことです。

近年、県内で開催される研修会等において、ねらいと評価の内容が合致していない学習指導案が散見されるという声は、その難しさを反映しているといえるでしょう。

一時間、一時間の「見取り（評価）」は、教師個々の問題だとする向きもあります。が、個人の考えや実践を尊重するあまり、それぞれの評価のベクトルが合わなくなるのは大きな問題です。

上の図は、学校が学力向上に組織的に取り組むうえで、参考にしてもらいたい内容をまとめたものです。学習指導の重要な要素の一つである評価についても、チームで研さんに励み、評価観を一脈相通じるものとし、ベテラン、若手等の関係なく、メンバーが一定の見取る力を有することが望まれます。

例えば、学年や学校、地域等で評価の研究に取り組む際に、次のような点を意識して

みてはどうでしょうか。
 ▼ビジョン
 ○ 当該授業が実生活との関わりを意識したものとなっているか。

○ 授業で付けようとする力が五年先、十年先に生きて働くことを、児童生徒に実感させているか。

○ 将来、児童生徒が社会に出たとき、自らを客観的に評価できる力の育成を図っているか。

▼プラン
 ○ 単元等で重点的に指導する内容を明らかにしているか。

○ 評価する項目が指導内容と合っているか。

○ 児童生徒の自己評価が高まるよう工夫しているか。

○ 説明責任を視野に入れ、単元の指導過程のどこで、何を、どのようにして見ることができるか、評価の手立てを具体化しているか。

○ 「おおむね満足する」状況に達していない児童生徒への手立てを工夫しているか。

1 目標達成のための三つの力

学校教育の質の保証・向上

要領に示された各教科等の目標や内容を子どもたち一人一人に確実に身に付けさせる力

<p>ビジョン 5年先、10年先を見据えて— プラン 組織マネジメントの発想で— ビジョンの共有 取組内容の重点化と方法の具体化 定期的な点検と結果公開</p>
<p>チェック 成果をみるのは、子どもの姿で— 《教職員》 小さな成功体験 → チームワーク → モチベーション</p>

第1回 単元末テスト（5年生）

《問題》※ 実物は、縦書き。

「棟方志功」の伝記を読んで、あなたが思ったことや考えたことを、次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 思ったことや考えたことを、次の書き方でまとめること。
 - ・ 棟方志功は、～な人だと思う。
 - ・ 理由は、～をしたからだ。
 - ・ わたしは、志功から～を学んだ。
- 八十字以上、百二十字以内にまとめて書くこと。

【作成上の工夫】

- 昨年度の（同じ単元での）テストにおいて、感想を書くだけで、生き方について触れていなかったり、感想の根拠となる事実を示すことができていなかったりした児童がいたことから、書き方を具体的に示した。
- 昨年度の字数指定は、80字以上、100字以内であったが、100字では書ききれない様子であったため、上限を120字とした。

【考察】

- 単元の中で書く活動を多く取り入れたためか、無解答者はいなかった。
- 約3分の1の児童は、三つの文を関連付けて書くことができず、特に、「志功」から学んだことの文が前の二文とつながらないケースが目立った。

第2回 単元末テスト（5年生）

《問題》※ 実物は、縦書き。

あなたは、これからの日本の社会は、くらしやすくなると思いますか、くらしにくくなると思いますか。次の条件1から3までにしたがって、自分の考えを書きましょう。

- 条件1 最初に自分の考えを明らかにすること。
- 条件2 なぜそのように考えるのか、グラフから読み取ったことをもとにして、理由を書くこと。
- 条件3 百六十字以上、二百字以内にまとめて書くこと。

【作成上の工夫】

- 本単元では、「文章全体の構成の効果を考え、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書く力」の育成に重点を置いて指導した。そこで、自分の考えを明確にするとともに、具体的な数値や言葉を挙げて分かりやすく書く力が付いているかどうかをみる問題とした。

【考察】

- 全員が字数制限を守って書くことができた。
- 単元の中で特に力を入れて指導した双括型の構成を、児童は、抵抗なく取り入れて書いていた。今後は、複数の資料から、自分の意見の根拠となる適切な資料を選択する力を身に付けさせたい。

○ 単元等を総括する評価によって、児童生徒が自らの伸びを実感したり、自己肯定感を高めたりすることができるよう、評価結果の示し方を工夫しているか。

▼ チェック

○ 学校や学級の実態に応じた、簡素で効率的な評価が実施できるよう方法を工夫し、有効な手立てを共有しているか。

○ 複数の教員が共通の評価物进行评估し、「おおむね満足できる」状況の幅を確かめるなど、評価の標準化を図る機会を設けているか。

3 実践例

平成二三年度学力向上プロジェクト事業の研究推進校の一つ、鬼北町立近永小学校で

は、研究を進める中で、国語科における評価問題を見直そうとする動きが起こりました。

いろいろと検討した結果、同校では、「思考力・判断力・表現力等」の定着度をみることでできる評価問題を、全ての学年で自作することになりました。

この取組は、平成二四年度

も継続され、五年生では、左のような実践がなされました。

このように、ねらいと関連した評価問題を作り、それを基に単元を構想する試みは、単元で重視しなければならぬ内容、反対に、重視しなくてもよい内容を明確にし、目標・指導・評価の一体化を図ることにつながります。

教育の振興を目指す！
日教弘の「5大事業」

公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか。

本づくり 応援キャンペーン

●規格・表丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提案
●原稿作りのアドバイス ●字罫のお見直し ●その他、ご相談承ります。— ※原稿での紙面を2枚見るとも印刷代は別にお知らせください。

ご注文・お問い合わせは 印刷営業部 TEL (089)945-0112 Fax (089)947-6073

SEKI セキ株式会社
松山本社 / 松山市湊町7丁目-1 TEL(089)945-0111
東京本社 / 東京都豊島区池袋3丁目2-8 TEL(03)3777-1230
支店 / 大阪・鳥取 営業所 / 名古屋・高知 http://www.seki.co.jp

ふるさとスケッチ

No.356

石 鎚 山



松山市教育会 OB

中矢 宗和

松山市の重信川口大橋から眺める石鎚山は、ことのほか崇高で美しいです。石鎚山は万葉の昔から山部赤人が「伊予の高嶺」と讃えた西日本最高峰の名山です。

だからこそ、松山の学校の校歌に「石鎚」という語彙が最も多く用いられているのだと思います。



も「明けゆく垣生の野に立てば天そそり立つ石鎚や」と詠われています。

この絵は、西行の「不二か」とぞ思ふ：伊予の高嶺のゆきの曙」に思いを致し、重信川口大橋から描きました。

ご冥福をお祈りします

Table with 3 columns: Name, Age, Address. Includes names like 菊池 眞様, 筒井 年男様, etc.

ローカルトピックス

法蓮寺の枝垂桜

久万高原町役場から国道三十三号を車で南へ約5km走り、落合交差点を右折します。そこから約三分間ほど走り、右手の小高い丘を上がったところに法蓮寺があります。



境内に咲き誇る枝垂桜

法蓮寺の山門をくぐると、樹齢百六十年を超える枝垂桜が見事な姿を見せてくれます。高さ8m、幹回り2mほどのこの古木は、町指定天然記念物です。

お知らせ

第65回日本連合教育会研究大会ー長野大会ー(概要)

【期日】平成二十五年八月七日(水)ー九日(金)

【会場】ホクト文化ホール他

【大会主題】

人と人との絆の中で、心豊かに自らの生活を切りひらく日本人の育成

【分科会】八月八日

- ①教育課程 ②学習指導 ③道徳教育 ④生徒指導 ⑤健康・安全教育 ⑥環境教育 ⑦人権教育 ⑧幼児教育 ⑨特別支援教育 ⑩学校・家庭・地域社会の連携

【記念講演】八月九日 講師 東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授 姜 尚中 先生

ご存知ですか？

愛媛県教育会による積立年金制度

現職会員の皆様、将来の生活設計を早い時期に！！ 満65歳年金受給開始までの「つなぎ年金」としてご利用できるほか、お子様の学資の準備、住宅購入資金の準備等、所定の事由に該当する場合に積立金を払い出すこともできます。

予定利率は 1.25% (平成25年3月1日現在) 加入時期は 年2回(加入日4月1日・9月1日)募集は5月と12月 委託会社は国内の保険会社

明治安田生命保険相互会社と第一生命保険株式会社 ※ご加入者の方は、パンフレットをご参照ください。

公益財団法人愛媛県教育会 積立年金経営委員会

TEL 089-945-8644

(MY-A-13-LF-002493)

愛媛マングリンパイレーツ2013年前期日程

Table with 2 columns: Date/Time, Opponent. Includes matches like 4/28@ 18:00~ VS徳島 坊っちゃん, 5/5@ 14:00~ VS香川 野市しおい, etc.

●チケット:大人:前売・800円(当日・1,000円) 小人:前売・400円(当日・500円)(税込) ※チケット取扱店につきましては球団HP (http://www.m-pirates.jp) にてご確認ください。

愛媛マングリンパイレーツ(愛媛県民球団株式会社) 詳しいお問い合わせは 〒790-0932 松山市東石井6-12-36 TEL(089)914-8102 FAX(089)914-8103